

# NEWS LETTER

*Institute of Social Safety Science*

## 地域安全学会ニュースレター No. 67

### －目次－

- |                                |   |
|--------------------------------|---|
| 1. 連絡用メールアドレス確認のお願い            | 1 |
| 2. 地域安全学会（春季）大会案内              | 2 |
| 3. 2009年度査読論文（研究発表会論文）の募集と投稿方法 | 4 |
| 4. （会告）新規の査読論文（電子ジャーナル）の発行について | 7 |
| 5. 第2回 地域安全学会技術賞審査報告           | 8 |



地域安全学会ニュースレター  
ISSS News Letter

No. 67

2009. 4

## 1. 連絡用メールアドレス確認のお願い

### 至急・重要

#### 連絡用メールアドレス確認のお願い

昨年のニュースレター No. 64 で各種情報を連絡するためのメールアドレスを登録していただくお願いをしました。しかし、一部の方からまだ連絡いただいております。また、4月からの所属変更などによりメールアドレスが変わる方もいると思います。

つきましては、昨年夏に登録していない方、および4月から変更になる方は下記のように改めて連絡くださるようお願いいたします。

なお、今回のメールアドレス登録は事務局からの連絡用で、公開はいたしません。名簿作成時には改めて公開の可否を確認させていただきます。

#### 記

1. お名前
2. ご所属
3. 連絡先電話番号
4. 連絡先メールアドレス

1～4を学会事務局（e-mail: [iss2008@iss.info](mailto:iss2008@iss.info)）へ2009年5月15日までにご連絡下さい。

## 2. 地域安全学会（春季）大会案内

---

1. 2009 年度総会
  2. 第 24 回地域安全学会研究発表会（春季）
  3. 公開シンポジウム（伊勢湾台風から 50 年を迎えて：これまでの防災とこれからの防災）
- 

三重県桑名市長島町で 2009 年度地域安全学会総会および公開シンポジウム等を開催します。年度も総会にあわせて、第 24 回地域安全学会研究発表会（春季）＜一般論文発表会＞を行いますので積極的な参加をお願いします。

### ■ 第 24 回地域安全学会研究発表会（春季）＜一般論文発表会＞

場所：桑名市長島防災コミュニティーセンター

日時：2009 年 6 月 5 日（金）13：00～16：00

※ 一般論文の「投稿要領」については前号のニューズレター、ホームページをご参照ください。

E-mai による登録期限が 4 月 9 日（木）、郵送による原稿締め切りは 5 月 1 日（金）です。

※ 上記の時間は一般論文発表数により多少の変更があるかもしれません。

### ■ 総会

場所：桑名市長島防災コミュニティーセンター

日時：2009 年 6 月 5 日（金）16：00～17：00

※ 総会への出欠は、今回同封した返信用葉書でご回答ください。

### ■ 懇親会

場所：桑名シティーホテル

日時：2008 年 6 月 5 日（金）18：30～20：30

### ■ 「伊勢湾台風 50 周年記念」公開シンポジウム（後援：桑名市、三重県）

#### 「伊勢湾台風から 50 年を迎えて：これまでの防災とこれからの防災」

戦後日本の防災対策の確立の契機となった伊勢湾台風から 50 年を迎える事を踏まえ、これまでの防災策の検証と今後の防災対策のあり方を考える事を目的に以下のシンポジウムを開催します。

場所：桑名市長島防災コミュニティーセンター

日時：2009 年 6 月 6 日（土）9：30～12：00

◇開会挨拶：地域安全学会長

◇基調講演（90 分）

「伊勢湾台風災害の巨大化の構造と教訓」 安田孝志（岐阜大学工学部）

「伊勢湾台風の教訓を地球温暖化による巨大高潮時代に生かす」 河田恵昭（関西大学）

◇休憩

◇パネルディスカッション (50分)

コーディネーター：目黒公郎（東京大学生産技術研究所）

パネリスト：

安田孝志（岐阜大学工学部）

河田恵昭（関西大学）

不破九二生（元輪中の館館長）

他

◇閉会挨拶：地域安全学副会長

## ■ 現地見学会

見学先：伊勢湾台風からの復興と0m地帯での防災対策 等

日時：2009年6月6日（土）12：30～16：30

※ 以下の要領で参加申し込みをお願いします。

○申し込み内容

氏名、連絡先（できれば携帯番号）

○事前申し込み

5月29日（金）17時まで

○申込先

京都大学防災研究所巨大災害研究センター 牧紀男宛

E-mail：maki@drs.dpri.kyoto-u.ac.jp

## ■ 参加費

研究発表会、公開シンポジウム 無料

梗概集 4,000円

懇親会 社会人 6,000円（予定）

学生 2,000円

## ■ 宿泊について

桑名市駅近辺にはホテル等が、多数ありますので、各自ご予約ください。

### 3. 2009 年度査読論文（研究発表会論文）の募集と投稿方法

平成 21 年 3 月

地域安全学会学術委員会

平成 17 年度から「論文査読システム」は電子申込・電子投稿となっております。2009 年 5 月 21 日（木）正午までの期間内に地域安全学会ホームページ（[www.iss.info](http://www.iss.info)）から、論文申込（講演申込を兼ねる）と査読用論文原稿を同時に投稿してください。

平成 19 年度より、CD-ROM 版論文集を最終成果物として扱うことにより、査読はカラー原稿を前提として行われます。カラー図版使用の制約やカラー印刷料金を廃止する一方、冊子体論文集はすべて白黒印刷となり、論文別刷りの作成・送付は行わないこととしておりますので、ご了承ください。

また、平成 21 年度より、新しい審査付の論文集（電子ジャーナル）の募集が始まりますが、この執筆要領は本査読論文に準拠しており、今回の第二次審査で不採用となった論文のうち、学術委員会が認めた場合、さらなる修正指示を課すことで地域安全学会論文集（電子ジャーナル）（平成 22 年 3 月発行予定）での継続審査（移行論文と呼びます）への道が開かれています。移行論文を選択すると電子ジャーナルの第一次審査が免除されます。なお、第一次審査で不採用となった論文は移行論文となりませんので改めて新規投稿して下さい。

会員各位の積極的な査読論文の投稿をお願いします。

#### 1. 日程等

- (1) 論文（講演）申込と査読用論文原稿の第一次審査用の投稿期限（電子投稿）  
平成 21 年 5 月 21 日（木）（正午）
- (2) 第一次審査結果の通知  
平成 21 年 8 月初旬
- (3) 第二次審査用の修正原稿の提出期限（電子投稿）  
平成 21 年 8 月 28 日（金）（正午）
- (4) 第二次審査結果（登載可否）の通知  
平成 21 年 9 月下旬
- (5) 「地域安全学会論文集」への登載用最終原稿の提出期限  
(同一内容の電子投稿、並びに白黒原稿の郵送の両方を同時に行ってください)
  - ① PDF ファイルの電子投稿（CD に掲載）  
平成 21 年 10 月 2 日（金）（正午）
  - ② 白黒原稿の郵送（論文集に印刷）  
平成 21 年 10 月 2 日（金）（消印有効）
- (6) 地域安全学会研究発表会（査読論文）の日程  
(発表は論文賞・論文奨励賞の審査を兼ねる)  
月日：平成 21 年 11 月 5 日（木）～7 日（土）（5 日は予備日）  
場所：静岡県地震防災センター

(7) 論文賞・論文奨励賞授与式（平成 22 年総会に予定）

## 2. 査読料の納入

(1) 査読料 1 万円／編

(2) 査読料の納入方法

①期 限：平成 21 年 5 月 22 日（金）までに、②宛てに振り込んで下さい。

②振込先：みずほ銀行浅草支店

口座名：地域安全学会論文口座

口座種別：普通口座

口座番号：1 5 4 0 7 3 6

振込者名：受付番号＋筆頭著者（例：2009-000 チイキタロウ）

③注 意：査読料の入金確認をもって論文申込手続きの完了とさせていただきます。

## 3. 登載料の納入

(1) 登載料（CD-ROM 版論文集 1 枚＋冊子体論文集 1 冊を含む）

6 ページは 2 万円／編、10 頁を限度とする偶数頁の増頁については、5 千円／2 頁。

(2) 登載料の納入方法

平成 21 年 10 月 5 日（月）までに、上記 2. (2) ②の振込先に振込んで下さい。

## 4. その他の注意事項

(1) 申込期間の締切り間際に投稿の集中が見込まれます。予期せぬ事態によりサーバーがダウンし、受付ができなくなる恐れも出てきます。締切り間際の投稿は極力避けていただくようお願いいたします。

(2) 論文（講演）申込と査読用論文原稿の電子投稿の概略（詳細は電子投稿システムの指示に従って入力して下さい）

- ・申込者の氏名、所属、連絡先、その他の事項を入力する。
- ・論文題目、著者、所属、連絡先、その他の事項及び論文概要（250 文字程度）を入力する。
- ・その内容を確認し、必要があれば修正する。
- ・原稿ファイル（PDF 形式のみ）を指定し、送信する。
- ・なお、本年度よりファイルを送信しただけでは投稿は完了しません。送信後に Web 上での指示に従い、アップされた自分の原稿ファイルをダウンロードし、内容を確認の上、自ら「確認ボタン」を押して下さい。この操作を行うと初めて投稿が完了します。
- ・投稿が完了すると、メールにより受付番号とパスワードが通知されるので、電子投稿システムに再度ログインし、投稿ファイルの内容を確認し、必要であれば再投稿する。内容がよければ、申込・投稿を完了する。
- ・査読結果は申込者の連絡先に送付されますので、日程をご確認の上、確実に受領できる場所をご指定ください。

(3) 執筆要領テンプレートの入手方法

「論文集の執筆要領」は、本ニューズレターに示す通りですが、電子ファイル「論文集の執筆要領」テンプレートが、地域安全学会ホームページ（<http://www.iss.info>）に

ありますので、必ず最新のテンプレートをご利用下さい。なお、審査の公正を高めるため、査読用論文原稿には、氏名、所属および謝辞を記載しないこととしておりますので、ご注意下さい。詳細につきましては「論文集の執筆要領」をご参照下さい。

- (4) 申込だけで原稿が未提出のもの、査読料の払い込みのないもの、電子投稿論文が「論文集の執筆要領」に準じていないもの、および期限後の電子投稿は原則として受理できません。
- (5) 「CD-ROM 版論文集」には、登載決定後に電子投稿いただいた原稿ファイル（PDF 形式）に、ページ番号を追加して収録しますので、カラー図版に関する制限はありません。査読用論文原稿の電子投稿と同様の手順で最終原稿の電子投稿をお願いいたします。
- (6) 「冊子体論文集」には、登載決定後に郵送（あるいは宅配便）で提出いただく完全版下原稿を掲載します。平成 19 年度より冊子体論文集は白黒印刷のみとしましたので、白黒印刷の原稿を作成してお送りいただきます。原稿がカラー版の場合でも白黒印刷となります。

10 月の冊子体論文集用の完全版下原稿の提出先（郵送もしくは宅配便のみ）  
〒 417-0801 静岡県富士市大淵 325 番地 富士常葉大学大学院環境防災研究所  
地域安全学会学術委員長池田浩敬宛

---

#### 【使用するブラウザについて】

電子投稿はできるだけ、Internet Explorer から、論文の登録・論文登録内容の更新を行ってください。

---

- 「論文の新規登録」・・・第一次審査用に査読論文を、新規に登録（申込・投稿）する場合
- 「投稿済み論文の更新」・・・既投稿の論文を期限内に差し替えたり、審査後の修正論文を提出する場合
  - ・ 第一次審査では、新規登録、更新共に、5 月 21 日（木）正午まで接続できます
  - ・ 第二次審査以降は、それぞれの提出期限内（正午厳守）であれば接続できます

電子申込・電子投稿に関するお問合せは地域安全学会学術委員会担当までお願いします。

E-mail: [gakujutsu@isss.info](mailto:gakujutsu@isss.info)

#### 会員の皆様へ論文査読委員へのご協力お願い

「地域安全学会論文集」への投稿論文につきましては、学術委員会にて論文 1 編あたり 2 名の査読者を、原則として会員内より選出し、査読依頼を e-mail で送信いたします。査読依頼の時期は 6 月上旬を予定しております。

地域安全学会の会員各位におかれましては、学術委員会より査読依頼が届きましたら、ご多用中のことと存じますが、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

## 4. (会告) 新規の査読論文 (電子ジャーナル) の発行について

2009年(平成21年)3月  
地域安全学会理事会

地域安全学会では、2009年度より地域安全学会論文集(電子ジャーナル論文)を発刊することになりました。

### 1. 発刊の目的

従来の大会発表論文に加え、研究発表の機会を設けることにより、地域安全に関する研究の振興を図るとともに、電子ジャーナルとすることにより発表の即時性を確保します。

### 2. 発刊回数

年1回(3月発刊)、第1号は2010年3月発刊予定です。

### 3. 公表方法

HP上で3月に発刊する他、次年度の11月に発行する地域安全学会論文集(研究発表会論文)と合本、印刷します。

### 4. 審査体制等

大会論文と同様、学術委員会が担当します。審査スケジュールは概ね、下記のようになります。

- ・ 9月上旬：応募締切
- ・ 11月上旬：第一次審査
- ・ 1月上旬：第二次審査
- ・ 2月下旬：登載可否の最終決定

### 5. 執筆要領、投稿方法

執筆要領や投稿方法(電子投稿)等は原則、既存の研究発表会論文の要領に準拠します。別途、査読論文(電子ジャーナル論文)の「投稿規程」「執筆要領」「申し込み投稿方法」についてはHP上でお知らせします。

### 6. その他

電子ジャーナル登載論文は、学会賞の対象になりますが、論文奨励賞の対象にはなりません。

以上

## 5. 第2回 地域安全学会技術賞審査報告

地域安全学会 表彰委員会

今年度2回目を迎えた技術賞の募集に対し計5件の応募があり、2009年3月に下記の審査要領に基づき審査が行われました。その結果、今回の技術賞は「該当者なし」という結果となりました。ここに報告させていただきます。

### ■平成20年度「地域安全学会技術賞」の審査要領（抜粋）

#### 1. 受賞対象者

「地域安全学会技術賞 候補業績募集要領」に基づき応募された「地域社会における安全性および住民の防災意識の向上を目的として開発され、顕著な貢献をしたすぐれた技術（システム、手法、防災グッズ、情報技術、マネジメント技術を含む）」を対象とする。

#### 2. 審査方法

- (1) 表彰委員会委員全員、学会長、副会長、学術委員長、学術委員会副委員長、春季研究発表会実行委員長、秋季研究発表会実行委員長）から構成される技術賞審査会が審査を行う。
- (2) 表彰委員会委員長は、技術賞候補の応募期日後に三分の二以上の構成員を召集し、技術賞審査会を開催する。
- (3) 技術賞審査会では、応募状況の報告、審査方法の確認、および技術賞選定に関する審議と決定を行う。
- (4) 審査は、当該技術の①実績、②有用性・実用性、③革新性・新規性、④一般性・汎用性、および⑤将来性・展開性を考慮した以下の手順に従い、行われる。
- (5) 各審査員は評価シートを用いて、各々の候補技術を上記①から⑤の評価項目に基づき総合的に評価する。そして、すべての候補技術を順位が重ならないように順位づけし、地域安全学会技術賞にふさわしい技術を選定する。
- (6) 表彰委員は、すべての審査員により提出された評価シートに基づき、技術賞受賞候補を選定する。
- (7) 第2回技術賞審査会で技術賞受賞候補について審議を行い、理事会の承認のうえ、受賞技術を決定する。
- (8) 審査の実施細目は別途定める。



地域安全学会ニューズレター  
第 67 号 2009 年 4 月

地 域 安 全 学 会 事 務 局  
〒100-6307 東京都千代田区丸の内 2-4-1  
丸の内ビルディング 7 階 725  
(財) 都市防災研究所内  
e-mail : [iss2008@iss.info](mailto:iss2008@iss.info)  
URL : [www.iss.info](http://www.iss.info)

次のニューズレター発行までの最新情報は、学会ホームページ（[www.iss.info](http://www.iss.info)）をご覧ください。